

会議名	第8回新城地域協議会		公開
日時	平成31年3月14日(木) 午後7時00分～午後8時30分	場所	市役所本庁舎4階 4-1会議室
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、柿原典子、京極善市、陶山典男、夏目文男、加藤賢一、伊藤美代子、笹田明男、石野敏弘、酒向雅子、本田廣美、藤村信芳、中野泰志、森正彦、後藤幸子、石黒謙治、浅岡勝、奥平宏幸、村田博和、上田寿彦、今泉栄、谷山義雄		
	(事務局) 自治振興課：三浦部長、宮本主査 新城自治振興事務所：鈴木所長、川合主任		
欠席者	(委員) 鳥山勉	傍聴者	なし
配布資料	次第、地域計画、地域計画(資料編)、地域協議会だより地域計画特集号、平成31年度への引き継ぎ事項について、平成30年度新城地域自治区予算事業の執行状況について		

### 議題・議事・発言等(要点記録)

<p>1 開会 会議成立の報告及び会議録署名委員の指名 (奥平宏幸委員、村田博和委員、上田寿彦委員)</p> <p>2 議事 (1) 新城地域計画について 地域計画分科会で方針決定した地域計画(案)についてと、その地域計画の概要版を地域協議会だより号外として各戸配布することについて事務局から説明し、説明資料のとおり協議会で決定された。</p> <p>(2) 地区防災計画、防災マップについて 防災を考える会実行委員会で作成し、地域計画分科会で承認された地区防災計画と防災マップについて、事務局から概要説明した。質疑応答の中で、地区防災計画の修正が1箇所あり、その部分を修正して印刷することとして決定された。</p> <p>&lt;主な意見&gt; (会長) まずは地区防災計画についてご意見があればお願いします。 (委員) 地区防災計画の「車や物置に入れておこう」という欄に、カセットボンベが入っているが、車に入れられてしまった場合、危険なのではないか。 (事務局) その部分の表現は、各戸配布されている「わたしのまちの地震マップ」とおりとしているが、そのような誤解をされないために、「物置などに入れておこう」という表現に変えておくようにするというところでよいか。 (委員) その方がよいと思う。 (会長) 次に防災マップについてご意見があればお願いします。 (委員) 公衆電話の設置箇所で、NTTの前と東新町駅前が漏れていないか。 (事務局) 公衆電話を管理するNTTの設置箇所マップで確認しているので間違いはないと思うが、再度確認する。 (委員) NTTと東新町駅は昔はあったが、今はないと思う。</p>
---

(事務局) いずれにしても再度確認しておく。

(会 長) 公衆電話については、屋外に設置されているもので、24時間利用可能なもののみを対象としている。AEDも同様の考えで、地域自治区予算で設置したもののみを対象とした。

(委 員) 個人の病院を載せるべきでは。

(事務局) 個人の病院は、災害時に受け入れできない可能性があるため記載しないこととした。

### (3) 平成31年度への引継ぎ事項について

来年度へ引き継ぐべき事項について、事務局から説明した。その後、会長から委員全員に対して、引継ぎ事項等について発言するよう求めた。

#### <主な意見>

(委 員) AEDについて、この地域には救急車は5分ぐらいで到着する。自分としては必要性を感じない。来年度の地域自治区予算でAEDのリース契約を継続するかどうか慎重に検討するよう引継いでいただきたい。

(委 員) 委員1年目であったが、地域協議会という組織や地域自治区制度は活用しだいで、大変いいものになると思った。来年も委員として活動を続けたい。

(委 員) 交付金事業に関して、こども園保護者会のようなイベントを実施する団体が増えていくといいなと感じている。地域計画についてだが、もっと専門的な行政や教育機関を交えてつくらないと、浮いたものになってしまうのではないか。

(委 員) 地域協議会や市長との意見交換会など、もっと自由に意見を言えるような空気づくりが大事だと思う。意見したことについてどういう趣旨でその意見を言ったのかと聞かれたことがあり、そのように感じた。

(委 員) 地域自治区制度、地域活動交付金と地域自治区予算の2つの資金的な仕組みについては、私たち委員がもっとPRしていくことが大事だと思う。また、交付金事業については、交付金の審査会を終えた後に事業を開始し、年度内に事業完了となると実施する側はとても大変。このことを踏まえ来年度前年度審査について、よく検討していただきたい。

(委 員) 交付金事業は大変ありがたい。自分の区でいくと、経常経費に多くの予算が使われ、新しい事業はできない状態である。この制度により、様々な事業が実施できる。

(委 員) 事務局が大変だなと思っている。案内は郵送以外のメールなどの方法で実施できれば事務局の負担を軽減できると思う。

(委 員) 交付金事業の成果報告会に参加させていただき、各団体の発表を聞いたが、みなさん地域をよくしていこうという熱意が伝わってきて、有効に交付金を使っているなど感じた。それぞれ地域をより豊かに、暮らしやすくしていくために交付金事業が必要だということを強く感じた。

(委 員) 地域計画のにぎわいを担当したが、この地域に立派なマップと動画ができあがってよかったと思う。しんしろ城下町の会や事務局の尽力に感謝したい。また、しんしろ城下町の会は今年度で解散するということだが、こういった行政区を横断した会が再び立ち上がってくれるといいなと思う。

(委 員) 地域計画の高齢化対策とか子育て支援という柱があると思うが、やはり人口を増やしていくということが大切だと思う。今後ぜひ地域計画の中で婚活の実施について検討していただきたい。

(委 員) 交付金事業の報告会で、これまでこの地域では公民館主体の事業が多かったが、それ以外の活動にも活用できるということがよく分かったので、このことを引き継いで行きたいと思う。それから地域安全灯についてLED化を進

めているが、自分の区では設置するお組に負担してもらうこともあり、中々計画的に進めることができない。この補助制度を続けて欲しいことと、補助制度がなくなるようであれば、いつなくなるのかの情報をいただきたい。

(委員) 交付金事業について、公民館関係が多いが、その先の活動が大事だと思う。公民館を活用して、みんなで準備してイベントなどができると、世代間交流ができると思うし、地域計画もスムーズに進んでいけると思う。

(委員) 交付金事業について、この地域の申請は公民館活動が多く、安心・安全の分野などの申請が少ないと感じている。それを実施する団体がいないということも課題だと思うが、このままだと交付金事業がなくなっていってしまうのではないかと感じている。

(委員) 田町の清水の清掃作業について、市で実施することを検討していただきたい。

(委員) 交付金事業の成果報告会で各団体の模造紙の展示を見てきたが、他地区では公民館だけでなく地域の歴史に関する史跡の保存などの活動が多かったと思う。この地域にも、後世に残していかなければならないものがたくさんあると思う。今後そういったものに目を向けていく必要があると思う。

(委員) 立場上、他の地域協議会の取り組みを聞く場面が多くあった。ほかの地域では、もっと切実な問題を抱えている地域もあると感じた。そういうところを見ると、この新城地域自治区は、新城市全体の活性化の中心を担っていくということも感じた。先日、新城小学校で6年生の授業に招かれた。授業内容は、地域の将来についてということで、こどもたちが学習した成果を聞いてきたが、こどもたちの発表内容は、私たちが協議会で話し合っているようなことと根本は同じだなと、やはりこどもたちも同じようなことを感じているのだと思った。こどもたちには、その思いを持ち続けて、中学生議会や若者議会などに参加する機会があれば、その思いを届けたり、かなえてほしいという気持ちを伝えた。

### 3 その他

#### (1) 平成30年度地域自治区予算事業の執行状況について

地域自治区予算事業の執行状況について、資料に沿って事務局から説明した。